



こんにちは！ 花田・城山地域包括支援センターです！



令和3年1月発行

地域包括支援センターとは？

高齢者のみなさんが安心して、住み慣れた地域で暮らせるように支援している介護・福祉の総合相談窓口で、姫路市から委託を受けている公的機関です。

主任介護支援専門員・社会福祉士・保健師（看護師）・認知症担当職員の専門職が配置されています。

介護保険や介護予防、生活の相談、地域での各種活動、認知症に関する事など、高齢者の暮らしを支えるための支援を行っています。

花田・城山地域包括支援センターは花田・谷外・谷内の3小学校区を担当しています。

ご相談あれば、お気軽にお電話下さい。

花田・城山地域包括支援センター 079-253-8178



令和2年度 健康教室 ご案内

いつまでも住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるように、みんなで一緒に健康について学んだり、お話ししたりしませんか？



花田公民館 10:00~11:30

日付	内 容
1月19日 (火)	姫路市在宅医療・介護連携支援センター出前講座 「あなたの人生で大切にしたいものは何ですか？」 ～ゲームをしながら、もしもの時の“人生会議”一緒に語り合ってみませんか～
3月16日 (火)	消費者被害について これからも地域で生活していくために 消費者被害にあわないために

谷内公民館 10:00~11:30

日付	内 容
2月25日 (木)	認知症について 認知症について理解し、予防しましょう

◎申し込みは不要です。当日、各公民館へ開始時間までにお越し下さい。

◎当日はマスクを着用して下さい。

認知症の方を地域で支える取り組み

認知症は誰にでも起こりうる病気です。現在、高齢者の4人に1人は認知症かその予備軍と言われています。また、85歳以上の4割以上が認知症であると推定されています。

認知症などにより、通報や行方不明で警察に保護されることがあります。姫路市では、H30年度で251件、R元年度で348件ありました。

地域のさりげない「見守り」や早期の「発見活動」は、認知症の方やその家族だけでなく、地域の皆さんの安心した生活に繋がります。

認知症高齢者の見守り・SOSネットワーク

行方不明になる可能性のある方の情報を事前に市に登録し、行方不明になった際に早期に発見活動を開始する制度です。

見守りネットワークQRコード

行方不明者が身につけているQRコードを読み取ると、姫路市役所の連絡先が表示され、連絡すると身元が早期に分かります。



認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症に関する正しい知識と理解をもち、認知症の人や家族に対してできる範囲で手助けをする人のことです。およそ90分の養成講座を受講するだけで誰でもなることができます。

令和2年10月現在、姫路市では延べ40,867名の方が受講されています。



受講者には、認知症サポーターの証であるオレンヂリングをお渡しします。

認知症の方への声掛けのポイント

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない

認知症の人と家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、地域の人々が認知症を正しく理解することが大切です。

認知症という病気があっても、基本的な接し方は変わることはありません。認知症という病気を知って、正しい理解に基づいた対応を心がけましょう。

花田・城山地域包括支援センターでは、ふれあいサロン・ふれあい食事会・いきいき茶話会・敬老会等、地域の集まりに積極的に出向かせて頂きます。ご希望等あれば、是非ご連絡下さい。

花田・城山地域包括支援センター

姫路市花田町加納原田155 (社会福祉法人本覚寺苑が姫路市より受託しています)

電話:079-253-8178

